

ぽかぽか

水遊びが楽しい時期となりました。socioでも色水遊びやシャボン玉など、この時期ならではの活動も取り入れていきます。

むし暑く体力を消耗しやすい時期ですので、睡眠をしっかりとるなどして、体調管理に気を付けていきましょう。

児童発達支援事業の愛称が決定しました

当施設は多機能型事業所として就学児が利用する『放課後等デイサービス』と未就学児が利用する『児童発達支援事業』があるため、これまで未就学児の療育部門は通称「児発」と呼んできました。「児発って何？」という声もあり、初めて聞かれる方には馴染みにくい言葉なので、この度、愛称を作ることにしました。

名前は 『wakaba』

『socio』とは、スペイン語でパートナーという意味。日本語の「若葉」という意味を同じくスペイン語に訳すと『wakaba』。なんと日本語とスペイン語も同じ『wakaba』という響きなのです。芽を出したばかりの若葉のように子ども達にぐんぐん大きくなってほしいという願いも込めて、命名しました。

児童発達支援事業のスタッフに電話をつなぐ場合など、今後は愛称として使っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

避難訓練（火災）を行いました

年長クラスの子ども達はスクール形式でプリント課題を行っている最中のアナウンスでしたが、スタッフの指示に従って落ち着いて屋外に避難することができました。事前に紙芝居や約束ボードを使って話をしていたので、慌てることもなく、とても上手に避難していました。年少・年中クラスの子ども達には、事前説明をした後に避難経路を確認して、避難口まで移動する訓練を行っています。



おとなのsocioがありました

6月25日、今年度1回目のおとなのsocioを開催しました。

おとなのsocioは、「育児や日常生活で忙しい保護者様も時には体を動かしたりおしゃべりを楽しんだりして、身も心もリフレッシュできるといいな」「保護者同士がつながり合えるといいな」という思いから昨年度から始めた行事です。14名の参加があり、レクリエーションをしたり今後のおとなのsocioでしてみたいことを話し合ったりと楽しい2時間となりました。今回は[wakaba]スタッフの木原（ヨガインストラクター）によるミニヨガ講座も行いました。

参加者の皆様からのアンケートからご感想など紹介させていただきます。

ヨガで普段使わない体の部分を動かして気持ちよかった。家では今日のヨガの時のような静かな時間が作れないので、よいリラクゼーションになった。

小学生の保護者の方の参加もあるので、就学に向けての素朴な疑問を聞いたり、アドバイスをもらいたいと思う話し合いの場がほしい。参加者同士も少しゆっくり話がしたかった。

普段子どものことで悩んだり落ち込んだりすることが多いので、体験をするにしても話し合いをするにしても暗くなるのではなく前向きになれるような会になるとよいと思う。参加してみると楽しい会だったので前向きになれるような会で安心した。

その他、おとなのsocioの案内配布時に内容が詳細に記載してあるともっと参加しやすくなるのではという意見もいただきましたので、次回からは詳しい内容も事前にお知らせできるようにしていきますね。

ホームページを開設しました

ご利用者様には、別紙でお知らせしていますが、socioのホームページを開設しました。児童発達支援事業(wakaba)の情報だけでなく、大崎の放課後デイサービスやsocio勝央、next socioの情報も閲覧いただけます。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.socio-yurikago.jp/>

スタッフ紹介 ～socio[wakaba]に新しいスタッフが仲間入りしました～



ごとうだちあき
保育士の後藤田千秋です。よろしくお願いします。